

JAGES研究会において、「オール新潟による『次世代医療人』の養成」プログラムを紹介しました

平成 26 年 3 月 9 日（日）の午前 10 時 30 分から、名古屋にある日本福祉大学名古屋キャンパス 7B 会議室で開催された、「JAGES 研究会」に参加し、私達の「オール新潟による『次世代医療人』の養成」プログラムを紹介しました。

JAGES（Japan Gerontological Evaluation Study, 日本老年学的評価研究）は、愛知県の評価研究プロジェクトを母体に、2010 年からフィールドを全国の自治体に拡張してスタートしました。JAGES プロジェクトのねらいは、高齢者を対象とし、身体・心理・社会的など多面的な視点から実証的な老年学的研究を進めることです。



また、健康の社会的決定要因（social determinants of health, SDH）を解明する社会疫学的な研究や介護予防政策の総合的なベンチマークに必要な基礎データを得ることも目的としています。私達のプログラムもこの JAGES プロジェクトに参加し、次世代医療人養成コース「プライマリコース」の医学科 4 年次学生の医学研究実習で実施するリサーチにおいて、JAGES のアンケート調査も行って結果を共有し、新潟県の中山間地・離島のデータを全国のデータと比較したいと考えています。

会では、「オール新潟による『次世代医療人』の養成」プログラムの全体像について、新潟県の地勢なども織り交ぜながら紹介しました。また、今年度に行った医学研究実習に結果について、JAGES のデータと比較しての魚沼市の調査地区のソーシャルキャピタルの特徴、今後の計画などについて話しました。

参加者からは、次世代医療人養成コースの大学院コースとしての見通しについて、また、今後の計画について、いくつかの並行して行われている疫学プロジェクトと共同するアイデアなど、たくさんの有益なご意見・ご提案をいただきました。

いただいたご意見・ご提案を、私達の今後の医学研究実習・リサーチに生かしていきたいと思えます。

